

平成25年度決算に係る

定期監査
決算審査
調書

平成26年7月

農林総合研究所畜産試験場

〔組織改正に伴い業務を引き継いだ機関〕
農林水産部 畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
	(3) 決算審査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	決算調書(総括表)	5頁
8	事業別実施状況調べ	6頁
9	予備費の充用調べ	6頁
10	繰越関係調べ	6頁
	(1) 継続費通欠繰越調べ	6頁
	(2) 繰越明許費調べ	6頁
	(3) 事故繰越調べ	6頁
11	収入証紙取扱額調べ	6頁
12	収入事務処理状況調べ	7頁
	(1) 分担金及び負担金	7頁
	(2) 使用料	7頁
	(3) 手数料	7頁
	(4) 財産収入	8頁
	(5) 寄付金	8頁
	(6) 諸収入	8頁
	(7) 現金の取扱状況	8頁
13	税外収入未済額調べ	9頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9頁
15	税外収入不納欠損額調べ	9頁
16	債務負担行為の状況調べ	9頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	10頁
	(1) 負担金	10頁
	(2) 補助金	10頁
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	10頁
	(3) 交付金	10頁
	(4) 委託料	11頁
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	11頁
18	工事請負費調べ	11頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	11頁
19	財産に関する調べ	12頁
	(1) 公有財産	12頁
	(2) 金券類の受払状況	15頁
	(3) 基金	15頁
	(4) 債権	15頁
20	財産の貸付及び使用許可調べ	16頁
	(1) 土地及び建物	16頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	17頁
21	借受不動産明細調べ	17頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	17頁
	(1) 職員住宅	17頁
	(2) 職員駐車場	17頁
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	18頁
24	寄附物件の受納状況調べ	18頁
25	備品の処分状況調べ	18頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20頁
27	貸付金等状況調べ	20頁
	(1) 総括表	20頁
	(2) 償還状況	20頁
28	事業別予算執行状況調べ	21頁
29	農業機械の管理状況	22頁
30	生産物(品)に関する調べ	23頁
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	24頁
○	意見、要望等	30頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
農林総合研究所 畜産試験場	肉用牛研究室	○大家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関すること。 ○大家畜の生物工学を用いた改良増殖に関すること。 ○大家畜の経営技術の改善に関すること。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関すること。 ○和牛の遺伝子解析と育種を用いた改良増殖に関すること。 ○牛肉の肉質向上に関すること。
	酪農・飼料研究室	○乳牛の飼養管理技術の確立に関すること。 ○飼料作物及び牧草の栽培調整利用技術に関すること。 ○飼料の分析に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成26年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	当該年度	25.4.1現在	
定員	1	1	14	14	8	9	23	24	
現員	1	1	14	13	8	9	23	23	
過不足(△)	0	0	0	△1	0	0	0	△1	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	3	4	8	8	12	13	事務 1名、畜産技術員 9名(うち研究補助 3名、飼養管理補助 6名)、警備員 2名

5 役付職員の調べ

(平成26年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	岡垣 敏生	0	0	
室長(肉用牛研究室)	福田 孝彦	1	0	
室長(育種改良研究室)	田淵 一郎	0	0	継続勤務期間:7年
室長(酪農・飼料研究室)	吉岡 勉	3	0	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要
<p>黒毛和種肥育牛への飼料米給与試験</p> <p>決算額 1,811,000円 (財源内訳) 財産収入 1,811,000円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>○政策項目</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 肉用牛の肥育は飼料の大部分を輸入穀物に依存しており、穀物相場により経営が大きく左右される。輸入穀物の代替として、国産飼料米の利用が見込まれるが、豚、採卵鶏への給与が中心で、牛への飼料米給与による効果や影響は明らかでない。飼料米の普及拡大を図るため、黒毛和種肥育牛へ飼料米を給与し、発育、肉質に与える影響を調査し、肥育農家向け給与マニュアルを作成する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 当場で慣行的に使用している配合飼料を給与する区を対照区とし、粉碎した飼料米を配合飼料の一部代替として40%混合する区に区分し、20ヵ月間肥育し出荷、その発育や血液性状、枝肉成績を調査した。</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 特になし</p> <p>ウ 成果</p> <p>(ア) 飼料米の嗜好性は良好で、給与による発育、枝肉重量、肉質への悪影響は見られず、黒毛和種肥育牛へ給与する輸入穀物の代替が可能であることが分かった。</p> <p>(イ) 飼料米給与によって、牛肉脂肪中のオレイン酸含有率が向上した。(対照区54.3%、飼料米区56.1%と1.8%向上させた)</p> <p>(ウ) 飼料米は配合飼料に比べてカロリーが低く、繊維含量が高いため、飼料米給与によって配合飼料全体の摂取量が増加し、飼料効率の低下がみられた。(配合飼料摂取量：対照区3,652kg/頭、飼料米区4,085kg/頭と433kg増加した)</p> <p>また、飼料米が配合飼料より安価な飼料原料であることから、コスト低減が期待されたが、配合飼料の40%混合においては、飼料摂取量が増加したことにより飼料費低減効果は高くなかった。(1頭当り12,000円程度の飼料費削減にとどまった)</p> <p>(エ) 飼料米の給与によって通常の配合飼料の給与と比較して、肥育牛の血中ビタミンA濃度は低下することが分かった。肥育農家が飼料米を利用する場合は肥育牛のビタミンA欠乏症の早期の発症に注意を要する。</p> <p>エ 課題 飼料米の40%混合給与では飼料摂取量が増加しコスト低減効果が低かったため、よりコスト低減効果の高い最適給与割合を検討する必要がある。 現在、県内の肥育農家で実施中の飼料米給与試験の結果や他県の研究報告、給与事例を参考に、鳥取県の肥育農家向け飼料米給与マニュアルを作成する予定。</p>	

事業名	概要																
<p>優良遺伝子を活用した新鳥取和牛の創造</p> <p>【畜産試験場】</p> <p>決算額 2,934千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 2,934千円</p> <p>実施計画期間 H13年度～</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(7) 目的 市場価値の高い「新鳥取和牛」を創り出すために、産肉性と種牛性に関わる優良遺伝子を探索し、種雄候補牛や優良雌牛の選抜に活用して、優秀な種雄牛の造成を図る。</p> <p>(i) 事業の実施状況</p> <p>(1) ゲノム育種価の算出と精度検証（遺伝研との共同研究）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、402頭の肥育牛サンプルによるSNP解析を実施 ・今年度、追加で379頭の肥育牛サンプルのSNP解析を実施 ・遺伝研データと併せて、約2500頭のSNPデータでゲノム育種価予測式を算出 ・種雄牛、種雄候補牛を含めて約60頭のSNP解析を実施 ・種雄牛、種雄候補牛のSNPデータと予測式からゲノム育種価を算出 ・種雄牛の後代から計算された期待育種価とゲノム育種価の相関を確認し、ゲノム育種価の能力推定精度を検証 <p>(2) ゲノム育種価による受精卵段階での産肉能力推定（全農ET研との共同研究）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から2カ年計画で、共同研究をスタート ・今年度は1,000頭の肥育牛サンプルのDNAを抽出 ・全農ET研は約500頭のSNP解析を実施 <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム育種価の精度向上、オレイン酸ゲノム育種価算出のため、オレイン酸データを持つ肥育牛DNAのSNP解析の頭数追加 ・DNA解析の精度向上のため、DNA抽出方法の検討 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲノム育種価の産肉能力推定精度を検証。推定育種価とゲノム育種価の相関係数は比較的高く、ゲノム育種価は種雄牛の選抜に有用であることが示唆された。 <div data-bbox="427 1294 724 1644" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>枝肉形質</th> <th>相関係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枝肉重量</td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>ロース芯面積</td> <td>0.69</td> </tr> <tr> <td>パラ厚</td> <td>0.81</td> </tr> <tr> <td>皮下脂肪厚</td> <td>0.58</td> </tr> <tr> <td>推定歩留</td> <td>0.78</td> </tr> <tr> <td>BMS基準値</td> <td>0.63</td> </tr> <tr> <td>オレイン酸</td> <td>0.87</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="740 1240 1449 1747" data-label="Figure"> </div> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥育サンプルのデータを増やし、ゲノム育種価の予測精度を高める ・X染色体のSNPデータをゲノム育種価予測式の算出に組み込み ・繁殖雌牛におけるゲノム育種価の能力推定精度を検証する ・種雄候補牛や優良雌牛の選抜にゲノム育種価を活用する 	枝肉形質	相関係数	枝肉重量	0.91	ロース芯面積	0.69	パラ厚	0.81	皮下脂肪厚	0.58	推定歩留	0.78	BMS基準値	0.63	オレイン酸	0.87
枝肉形質	相関係数																
枝肉重量	0.91																
ロース芯面積	0.69																
パラ厚	0.81																
皮下脂肪厚	0.58																
推定歩留	0.78																
BMS基準値	0.63																
オレイン酸	0.87																

事業名	概	要
乳牛の繁殖 性向上試験 決算額 9,927千円 (財源内訳) 財産収入 9,927千円 ○将来ビジョン — ○政策項目 —	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 農家では乳牛の分娩後受胎期間の長期化による経済損失(最大1,600円/日)が問題となっており、分娩後受胎期間短縮技術の確立が望まれているため当試験において生殖機能回復に係る指標を提案することを目的とする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超音波画像診断装置を用い、当场及び農家で飼育されている搾乳牛46頭の卵巢動態のモニタリング(週1~3回)を実施。 ・得られた画像と繁殖成績、泌乳成績との関連性を比較。 <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩後100日以内に受胎した繁殖成績良好な乳牛の「黄体/卵巢比率」は繁殖成績の悪い牛より大きな値を示す傾向がみられ、その目安となる指標は「0.6」であることが解った。 ・飼料の充足率と連動する乳成分(乳蛋白質率、MUN)の値についても調査したところ、その適正值を示す牛も「黄体/卵巢比率」が「0.6」であることが解った。 <p>エ 課題</p> <p>卵巢動態は個体差が大きく、目安値と繁殖成績が合致しない場合も見られるのが課題と言える。ただし、ある程度の頭数を群管理する場合には今回示した数値が生殖機能回復の指標となり得るため、農家への普及を図りたい。</p>	

7 決算調書
(総括表)
一般会計

(平成26年5月31日現在)
(単位:円)

区分	科目	予算現額				計	決算額	翌年度繰越額	差引増減額	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減					
歳出	農業総務費	8,830,000		2,116,000		10,946,000	8,941,366	2,004,634		
	農業改良普及費	71,857,000	800,000			72,657,000	60,807,763	11,849,237		
	農業試験場費	79,622,000	△ 3,747,000			75,875,000	73,074,220	2,800,780		
	園芸試験場費	167,534,000				167,534,000	158,158,842	9,375,158		
	畜産試験場費	137,741,000	1,900,000			139,641,000	133,727,904	5,913,096		
	中小家畜試験場費	67,140,000	714,000	16,765,000		84,619,000	76,156,120	8,462,880		
	林業試験場費	67,000,000	△ 446,000			66,554,000	60,508,472	6,045,528		
	合計	599,724,000	△ 779,000	18,881,000	0	617,826,000	571,374,687	46,451,313		
	農林水産業手数料	595,000				595,000	537,400	57,600		
	農林水産業国庫補助金	14,029,000	259,000	819,000		15,107,000	14,996,420	110,580		
農林水産業委託金	690,000	233,000			923,000	924,302	△ 1,302			
財産貸付収入	234,000				234,000	198,172	35,828			
生産物売払収入	56,717,000	3,912,000			60,629,000	76,418,042	△ 15,789,042			
家畜類売払収入	23,292,000	7,004,000			30,296,000	41,356,603	△ 11,060,603			
農薬等検定受託事業収入	11,959,000	1,994,000			13,953,000	13,953,950	△ 950			
日本種苗協会受託事業収入	200,000				200,000	200,000	0			
農林水産研究高度化受託事業収入	1,490,000				1,490,000	1,700,000	△ 210,000			
農業・食品産業技術総合研究機構受託事業収入	200,000	340,000			540,000	540,000	0			
全国農業協同組合連合会受託事業収入	0	310,000			310,000	315,000	△ 5,000			
近畿大学受託事業収入	0	1,900,000			1,900,000	1,900,000	0			
森林総合研究所受託事業収入	0	1,500,000			1,500,000	1,500,000	0			
繰越金	0		18,062,000		18,062,000	18,062,000	0			
繰入金	754,000	△ 19,000			735,000	1,434,186	△ 699,186			
小計	110,160,000	17,493,000	18,881,000	0	146,474,000	174,036,075	△ 27,562,075			
一般費充当	489,564,000	△ 18,212,000	0	0	471,352,000	397,338,612	74,013,388			
合計	599,724,000	△ 779,000	18,881,000	0	617,826,000	571,374,687	46,451,313			

8 事業別実施状況調べ

事業名	予算額	支出済額	翌年度繰越額	差引残額	事業の計画と実績・成果
(畜産試験場費)					
管理運営費 畜産試験場	54,461,000	50,296,246	0	4,164,754	庁舎・牛舎・ほ場の整備、清掃委託料、光熱水費、庁舎修繕料、消耗品等の購入等維持管理を行う。
試験研究費 畜産試験場	85,180,000	83,431,658	0	1,748,342	試験研究課題等15事業を実施。詳細は、「主な事業に関する調査報告書」及び「試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載
目 計	139,641,000	133,727,904	0	5,913,096	
合 計	139,641,000	133,727,904	0	5,913,096	

9 予備費の充用調べ 該当なし

10 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ 該当なし

(3) 事故繰越調べ 該当なし

11 収入証紙取扱額調べ

(単位:円)

目	収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
	節	細節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	農家探卵受託手数料	1	43,900	43,900	
		飼料分析手数料	705	700	493,500	
		雌雄性判別手数料	0	21,200	0	
		計(節)	706		537,400	
目 計					537,400	
合 計					537,400	

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	電力	1	14,280	14,280	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		電気通信	1	19,500	19,500	0	0	"	
		計(節)	2	33,780	33,780	0	0		
	目計		2	33,780	33,780	0	0		
	合計		2	33,780	33,780	0	0		

(3) 手数料

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
農林水産業手数料	畜産業手数料	農家採卵受託手数料	1	43,900	43,900	0	0	鳥取県手数料徴収条例	証紙収入
		飼料分析手数料	1	493,500	493,500	0	0	"	"
		計(節)	2	537,400	537,400	0	0		
	目計		2	537,400	537,400	0	0		
	合計		2	537,400	537,400	0	0		

(4) 財産収入

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
生産物売払収入	生産物売払収入	牛乳、精液、子牛等売払	34	26,061,932	26,061,932	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	納期未到来
		計(節)	34	26,061,932	26,061,932	0	0		
	目計		34	26,061,932	26,061,932	0	0		
家畜類売払収入	家畜類売払収入	牛売払	28	40,667,712	40,667,712	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	納期未到来
		計(節)	28	40,667,712	40,667,712	0	0		
	目計		28	40,667,712	40,667,712	0	0		
合計			62	66,729,644	66,729,644	0	0		

(5) 寄付金

該当なし

(6) 諸収入

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
雑入	雑入	自動販売機設置取扱手数料	4	43,156	11,378	0	0		
		自動販売機設置に係る電気代	4	30,506	30,506	0	0		
	刊行物原稿執筆料	2	24,858	24,858	0	0			
目計				98,520	66,742	0	0		
合計				98,520	66,742	0	0		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

該当なし

イ つり銭の状況

該当なし

13 収入未済額調べ

(単位:円)

収入科目 目	区分		過年度					年度分			収入未済額 計(A +B)	未収理由
	節	細節	前年度 以前からの 繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳					
							21年度 以前	22年度	23年度			
生産物 売払収入	生産物 売払収入	生産物売払収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		目計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
家畜類 売払収入	家畜類 売払収入	家畜類売払収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		目計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ
該当なし

16 債務負担行為の状況調べ
該当なし

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等(規約、要綱等を含む。)	備考
(畜産試験場費) 支出金額が10万円未満のもの							25,000		安全運転運行 管理者協議会 管理費 10,000円 全国畜産関係 場所長会費 15,000円
目計							25,000		
合計							25,000		

(2) 補助金

該当なし

(2-1) 補助金 (他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 項 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日)				契約期間	支出 年月日	支出 区分		金額
					契約額	変更契約(最終)							
畜産試験場費	単 項	自動搾乳システムメン テナンス業務委託	藤原産業(株)鳥取営 業所	1,260,000	(H25.4.1) 1,260,000	H25.4.1 ~ H26.3.31	H25.3.25 (免除)	H25.5.31外	H25.7.4外	精	1,260,000	本システムの製 造メーカーの代理 店(県内に1社)で なければ保守が できないため。	
予定価格が20万円 未満のもの											839,369		
目計											2,099,369		
合計											2,099,369		

(4-2)委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)
該当なし

18 工事請負費調べ

該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)
該当なし

19 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(平成26年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)	
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷字高野606-1外	269,482.85	4,635,274	H	0	0	269,482.85	4,635,274
計			269,482.85	4,635,274				269,482.85	4,635,274
普通財産			0.00	0	H	0	0	0.00	0
計			0.00	0				0.00	0
合計			269,482.85	4,635,274				269,482.85	4,635,274

イ 建物

(平成26年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)	
行政財産	事務所	琴浦町松谷	716.20	34,684,000	H	0	0	716.20	34,684,000
	ボシベ庫		6.00	事務所に含む	H	0	0	6.00	事務所に含む
	直接検定牛舎		448.00	13,160,000	H	0	0	448.00	13,160,000
	鋸屑置場		42.00	2,614,245	H	0	0	42.00	2,614,245
	種雄牛舎		777.60	21,500,000	H	0	0	777.60	21,500,000
	人工授精舎		235.00	5,993,906	H	0	0	235.00	5,993,906
	管理舎		19.87	800,000	H	0	0	19.87	800,000
	和牛育成牛舎		301.18	5,640,000	H	0	0	301.18	5,640,000
	和牛繁殖牛舎		603.20	45,170,000	H	0	0	603.20	45,170,000
	待機牛舎		216.00	3,171,088	H	0	0	216.00	3,171,088
	秤量場		19.87	665,000	H	0	0	19.87	665,000
	車庫		160.00	9,913,000	H	0	0	160.00	9,913,000
	屋外便所		3.75	196,500	H	0	0	3.75	196,500
	生物工学棟(生物)		220.91	23,237,229	H	0	0	220.91	23,237,229
	農機具庫		335.40	7,335,367	H	0	0	335.40	7,335,367
	供卵・受卵牛舎		1,023.76	40,379,000	H	0	0	1,023.76	40,379,000
	繋留場		33.92	1,000,000	H	0	0	33.92	1,000,000

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)		価額(円)
	肥育牛舎		837.01	37,080,000	H	0	0	837.01	37,080,000	
	堆肥舎		997.20	49,985,150	H	0	0	997.20	49,985,150	
	隔離舎		262.20	16,380,000	H	0	0	262.20	16,380,000	
	後代検定牛舎		1,112.30	79,191,000	H	0	0	1,112.30	79,191,000	
	飼料保管庫		250.00	15,309,000	H	0	0	250.00	15,309,000	
	乳牛舎		737.10	69,241,200	H	0	0	737.10	69,241,200	
	生物工学棟(青種)		525.08	74,517,450	H	0	0	525.08	74,517,450	
	旧乳牛舎		396.69	3,600,000	H	0	0	396.69	3,600,000	
	旧乳牛育成牛舎		198.34	1,500,000	H	0	0	198.34	1,500,000	
	旧飼料庫		148.76	2,150,000	H	0	0	148.76	2,150,000	
	計		10,627.34	564,413,135				10,627.34	564,413,135	
普通財産			0.00	0	H	0	0	0.00	0	
計			0.00	0	H	0	0	0.00	0	
合計			10,627.34	564,413,135				10,627.34	564,413,135	

ウ 山林
該当なし

エ 不動産売却
該当なし

オ 財産の交換
該当なし

カ 不動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし

キ 物権
該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況
該当なし

(イ) 出願及び登録の状況
該当なし

14 (ウ) 活用の状況
該当なし

ケ 有価証券
該当なし

コ 出資による権利
該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成26年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 29,420	円 109,585	円 120,340	円 18,665	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
図書カード	14,000	0	0	14,000	
合計	29,420	109,585	120,340	32,665	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

(平成26年3月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高		本年度中		本年度末現在高		備考	
	金額	件数	増減 金額	件数	金額	件数		
行政財産使用料	円 3,000	3	円 0	0	円 33,780	2	円 -30,780	1
合計	3,000	3	0	0	33,780	2	-30,780	1

20 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地

(平成26年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考		
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	氏名			
行政財産	電力供給施設	琴浦町松谷字西高野606-1	電柱 6	平23.4.1	昭51.4.1	平23.4.1~平28.3.31	年額1,500 180	8,400	倉吉市駄経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所				
			支線 4										
			電柱 7										
			支線 5										
			支線 2										
			支線 1										
			支線 1										
			支線 1										
			支線 1										
			支線 1										
計	電気通信設備		電柱 5	平25.3.1	昭58.4.1	平25.4.1~平30.3.31	年額1,500	16,500	西日本電信電話(株)鳥取支店				
			支線 4										
計			支線 2	平21.4.1	平16.4.16	平21.4.1~平26.3.31	年額1,500	3,000					
			支線 1										
普通財産						月額・年額	33,780						
計							0						
合計							33,780						

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	氏名	
行政財産	自動販売機	琴浦町松谷字西高野606-1	1.25㎡	平25.4.1	平19.6.29	平25.4.1~平30.3.31	年額7,780	7,780	鳥取市緑ヶ丘2-667-14 (株)戸信		
計							7,780	7,780			
普通財産							月額・年額				
計							0				
合計							7,780				

(2) 物品

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価 月額・年額 無償	本年度の貸付料				
食肉脂質測定装置	1	相馬光学 S-7010	H25.4.1~ H26.3.31		0	西伯郡大山町小竹1291-1 鳥取県牛肉販売協議会 会長 山田 晋衛	同左	試験のため	
合計					0				

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

(2) 職員駐車場
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	東伯郡琴浦町松谷606 畜産試験場	12.5	1000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免			
4月	32	2		2		30	0			
5月	30					30	0			
6月	30			2		32	0			
7月	32					32	0			
8月	32					32	0			
9月	32					32	0			
10月	32					32	0			
11月	32					32	0			
12月	32					32	0			
1月	32					32	0			
2月	32					32	0			
3月	32					32	0			
合計							0			

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本 年 度		備 考
					稼働 日数	(1か月平均) 走行キロ数 (369)	
普通貨物トラック	H9	鳥11せ84-84	H9.7.15	88,032 km	42	km 66,276 (内訳) 39,186 12ヶ月点検 スノータイヤ交換 7,560 タイヤ交換 9,450 6ヶ月点検 10,080	H25年11月21日売却
小型貨物ダンプ	H10	鳥取45そ50-37	H10.5.27				
普通貨物自動車	H15	鳥取100は4-98	H15.6.27	28,922 km	77	2,636 12ヶ月点検 3ヶ月点検(バッテリー交換) タイヤや空気漏れ修繕 3ヶ月点検 10,710	
小型貨物ダンプ	H26	鳥取100さ74-65	H26.1.7	1,121 km	16	251 (84)	H26年1月7日購入
合 計						197,529	

24 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

25 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分			備 考
							売却 の別	売却方法・ 棄却方法	処分 年月日	
和牛(はくと1)	1	23.10.03	8年	266,000 円	25.04.09	後代検定終了	売却	委託販売	25.04.11	873,254
和牛(やすひらひさ9)	1	23.10.03	8	266,000	25.04.09	能力確認終了	売却	委託販売	25.04.11	795,589
和牛(金勝忠1)	1	23.10.03	8	334,000	25.04.22	肥育試験終了	売却	委託販売	25.04.26	851,647
和牛(金勝忠2)	1	23.10.03	8	334,000	25.04.22	肥育試験終了	売却	委託販売	25.04.26	770,709
和牛(金勝忠3)	1	23.10.03	8	334,000	25.04.22	肥育試験終了	売却	委託販売	25.04.26	837,315
乳牛(パインバリー アイダロッタ フォーティ)	1	19.05.06	8	65,000	25.04.24	試験研究対象外	売却	委託販売	25.05.08	99,750
乳牛(パインバリー エアロフラワー アメリ)	1	20.08.14	8	53,000	25.04.24	試験研究対象外	売却	委託販売	25.05.08	109,200
乳牛(パインバリー グラースヒル スバート)	1	21.08.14	8	52,000	25.04.24	試験研究対象外	売却	委託販売	25.05.08	109,200

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処分			備考
							売払棄却 譲与の別	売払・棄却・ 譲与の方法	処分 年月日	
和牛(安平久)	1	20.01.17	8	714,000	25.05.10	種雄牛・廃用	売払	委託販売	25.05.14	47,618
和牛(やすひらひら10)	1	23.10.03	8	266,000	25.05.16	能力確認終了	売払	委託販売	25.05.17	729,965
和牛(国産白兎)	1	23.10.03	8	334,000	25.05.16	後代検定終了	売払	委託販売	25.05.17	877,215
和牛(白兎久)	1	23.10.03	8	334,000	25.05.16	後代検定終了	売払	委託販売	25.05.17	859,285
和牛(勝安照)	1	23.06.02	8	651,000	25.05.22	能力確認終了	売払	委託販売	25.05.24	882,053
和牛(金字塔)	1	23.06.02	8	640,500	25.05.22	能力確認終了	売払	委託販売	25.05.24	967,910
和牛(勝重波)	1	23.06.02	8	661,500	25.05.22	能力確認終了	売払	委託販売	25.05.24	893,543
和牛(福貴龍)	1	23.10.03	8	334,000	25.05.22	肥育試験終了	売払	委託販売	25.05.30	832,608
和牛(金勝忠4)	1	23.10.03	8	334,000	25.05.22	肥育試験終了	売払	委託販売	25.05.30	1,005,273
和牛(金勝忠5)	1	23.10.03	8	334,000	25.05.22	肥育試験終了	売払	委託販売	25.05.30	903,518
和牛(金勝忠6)	1	23.10.03	8	334,000	25.05.22	肥育試験終了	売払	委託販売	25.05.30	783,391
和牛(白兎)	1	21.03.05	8	640,500	25.06.10	病畜廃用	売払	委託販売	25.06.11	34,272
和牛(すかうと)	1	23.12.07	8	433,650	25.07.24	後代検定終了	売払	委託販売	25.07.26	1,070,352
和牛(百合高)	1	23.12.07	8	443,100	25.07.24	後代検定終了	売払	委託販売	25.07.26	675,483
和牛(桜貴龍)	1	23.12.07	8	428,400	25.07.24	後代検定終了	売払	委託販売	25.07.26	1,043,498
和牛(数高)	1	23.12.07	8	436,800	25.07.24	後代検定終了	売払	委託販売	25.07.26	1,025,811
和牛(奈留桜)	1	23.12.07	8	428,400	25.07.24	後代検定終了	売払	委託販売	25.07.26	734,813
和牛(はれきよばち1)	1	24.01.04	8	293,000	25.08.01	能力確認終了	売払	委託販売	25.08.02	996,713
和牛(すまざくら)	1	23.12.07	8	436,800	25.08.01	後代検定終了	売払	委託販売	25.08.02	667,203
和牛(百弥)	1	24.01.19	8	492,450	25.08.21	後代検定終了	売払	委託販売	25.08.23	753,279
和牛(高桜2)	1	24.01.04	8	351,000	25.08.21	後代検定終了	売払	委託販売	25.08.23	862,766
和牛(来宝)	1	24.01.19	8	480,900	25.08.21	後代検定終了	売払	委託販売	25.08.23	953,897
和牛(安桜4)	1	24.01.19	8	441,000	25.08.21	後代検定終了	売払	委託販売	25.08.23	834,301
和牛(ちよ)	1	18.01.25	8	592,000	25.08.29	牛群更新	売払	せり売り	25.09.02	223,650
和牛(かみこ)	1	18.12.07	8	496,650	25.08.29	牛群更新	売払	せり売り	25.09.02	229,950
和牛(はくと3)	1	24.01.04	8	293,000	25.09.13	肥育試験終了	売払	委託販売	25.09.20	776,144
和牛(はくと4)	1	24.01.04	8	293,000	25.09.13	肥育試験終了	売払	委託販売	25.09.20	716,936
和牛(宝高桜1)	1	24.01.04	8	351,000	25.10.01	肥育試験終了	売払	委託販売	25.10.03	677,947
和牛(安鷹)	1	24.03.01	8	347,000	25.10.01	肥育試験終了	売払	委託販売	25.10.03	852,234
乳牛(パインパリー グラースヒル ショトル)	1	22.08.15	8	37,000	25.10.03	試験研究対象外	売払	せり売り	25.10.07	102,900
乳牛(パインパリー グラースヒル エンファミ)	1	23.01.19	8	54,000	25.10.03	試験研究対象外	売払	せり売り	25.10.07	105,000
乳牛(パインパリー アイダロット シド ファ)	1	23.12.30	8	64,000	25.10.03	試験研究対象外	売払	せり売り	25.10.24	113,400
和牛(勝見)	1	24.01.04	8	351,000	25.10.18	肥育試験終了	売払	委託販売	25.10.24	963,134
和牛(勝増)	1	24.01.04	8	351,000	25.10.18	肥育試験終了	売払	委託販売	25.10.24	867,979
和牛(勝由利)	1	24.01.04	8	351,000	25.10.18	肥育試験終了	売払	委託販売	25.10.24	989,145
乳牛(パインパリー グラースヒル アシユラ)	1	25.03.01	8	69,000	25.10.01	試験研究対象外	売払	随意契約	25.10.28	252,000
乳牛(パインパリー アイダロット シド アリ)	1	25.04.01	8	71,000	25.10.01	試験研究対象外	売払	随意契約	25.10.28	252,000
乳牛(パインパリー アイダロット レジナルト)	1	25.07.01	8	74,000	25.10.01	試験研究対象外	売払	随意契約	25.10.28	204,750
和牛(ななこ)	1	18.01.25	8	631,050	25.10.22	病畜廃用	売払	委託販売	25.10.28	69,573
和牛(なつこ)	1	24.06.07	8	454,650	25.11.05	後代検定終了	売払	委託販売	25.11.07	567,208
和牛(夢福麟)	1	25.10.15	8	31,500	25.11.01	種雄牛・廃用	売払	委託販売	25.11.12	41,496
和牛(野上茂)	1	20.04.17	8	642,600	25.11.22	種雄牛・廃用	売払	委託販売	25.11.27	51,167
和牛(福金)	1	24.03.01	8	347,000	25.11.26	後代検定終了	売払	委託販売	25.11.27	1,043,103
和牛(安茂波)	1	24.04.19	8	428,400	25.11.26	後代検定終了	売払	委託販売	25.11.28	1,064,304
和牛(まゆこ)	1	24.06.07	8	423,150	26.02.07	後代検定終了	売払	せり売り	26.02.13	907,066

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処分			備考	
							売払棄却 譲与の別	売払・棄却・ 譲与の方法	処分 年月日		売払額・ 処分費用
和牛(ことぶく)	1	24.05.01	8	297,000	26.02.07	後代検定終了	売払	せり売り	26.02.13	994,235	
和牛(ふくさざえ)	1	24.05.01	8	297,000	26.02.07	後代検定終了	売払	せり売り	26.02.13	953,538	
和牛(みやきく)	1	24.05.01	8	297,000	26.02.05	肥育試験終了	売払	せり売り	26.02.19	739,155	
和牛(白平)	1	24.05.01	8	321,000	26.02.05	肥育試験終了	売払	委託販売	26.02.20	794,023	
和牛(高嶺)	1	20.03.07	8	640,500	26.02.24	種雄牛廃用	売払	委託販売	26.03.05	62,108	
和牛(安美津久)	1	24.07.09	8	508,000	26.02.28	後代検定終了	売払	委託販売	26.03.06	822,404	
和牛(安美平)	1	24.07.19	8	486,150	26.02.28	後代検定終了	売払	委託販売	26.03.06	762,885	
和牛(美津美津)	1	24.07.19	8	441,000	26.02.28	後代検定終了	売払	委託販売	26.03.06	797,323	
和牛(安美茂)	1	24.07.02	8	318,000	26.02.28	後代検定終了	売払	委託販売	26.03.06	829,524	
小計	62			22,621,650						40,667,712	
和牛(龜福)	1	24.04.19	8	426,300	25.10.28	死亡	棄却	病性鑑定	25.10.28	0	
乳牛(パインバリー アイダロット エアロスタ)	1	17.06.01	8	85,000	25.12.06	治療不能	棄却	病性鑑定	25.12.06	0	
車両(登録番号 鳥取45モ5037)	1	10.05.28	5	3,237,360	25.11.01	車両更新	売払	随償契約	25.12.06	695,970	
小計	3			3,748,660						695,970	
合計	65			26,370,310						41,363,682	

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

27 貸付金等状況調べ
(1)総括表
該当なし

(2)償還状況
該当なし

2.8 事業別予算執行状況調べ

目 名	財産管理費	(平成26年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
県有施設営繕事業	場内2施設の修繕を実施した。	

目 名	農業総務費	(平成26年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
農林水産試験場 臨時的調査研究事業	短期・緊急課題について2課題実施した。	

目 名	畜産振興費	(平成26年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
県優良種雄牛造成事業	優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行うための経費	
自給飼料増産支援事業	条件の異なる現地農家ほ場で、トウモロコシ優良品種の栽培試験を実施し、各地の条件とニーズに合った品種の選定を行うための経費	
飼料用米給与支援確立事業	農家で実施する飼料米給与試験血液検査に要する経費	

目 名	畜産試験場費	(平成26年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
畜産試験場管理運営	庁舎・牛舎・ほ場の警備、清掃委託料、光熱水費、庁舎修繕料、消耗品等の購入等維持管理を行う経費。	
畜産試験場施設整備費	ダンプトラックの更新経費	
試験研究費	試験研究課題等15事業を実施。詳細は「6主な事業に関する調べ」及び「31試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載	

29 農業機械の管理状況

品名	型式及び規格	取得年月日	用途	稼動日数 日	燃 料		修繕費等 円	左の主な内容 円	備考
					消費量 L	金額 円			
トラクタ	イセキ T8010F	S61年6月18日	圃場管理	9	52	5,090	0		
"	ジョンデアー2650D	H3年7月17日	"	365	1,737	173,912	547,449	オイル・エレメント交換 23,310 PTOシャフト折れ修繕 195,489 タイヤ交換 268,800 バッテリー交換 59,850	
"	マッセイファーガソン① MF6160-4C	H7年10月16日	"	64	2,177	216,983	289,401	タイヤ交換 233,247 オイル・エレメント交換 56,154	
"	マッセイファーガソン② MF6160-4C	H9年6月26日	"	52	903	90,549	1,128,207	パンク修繕 71,715 オイル・エレメント交換・ワイパー修理 83,717 前輪ハブ破損修繕 925,000 アームレバー不動修繕 47,775	
ミニホイルローダー	コマツ WA20-2	H5年7月27日	牛舎管理	245	374	37,514	0		
"	コマツ WA20-2E	H8年3月6日	"	130	355	35,645	0		
"	クボタ RA300-3	H15年6月5日	"	365	936	94,002	45,974	特定自主整備 45,974	
"	クボタ R520-D	H15年10月17日	"	210	891	89,332	13,650	エアコンガス漏れ修繕 13,650	
"	クボタ R530-Z	H23年8月9日	"	174	1,475	148,059	51,807	特定自主整備 31,500 オイル・エレメント交換 20,307	
計	-	-	-	-	8,900	890,996	2,076,488	-	

30 生産物(品)に関する調べ

(平成26年5月31日現在)

生産部門	品名種類	作付面積	生牛数	産量	生産数			場内使用	処			数			分類換	差引残	備考
					前年繰越	生産	生産購入		量計	数量	金額	数量	金額	数量			
生乳	乳	/	200,000	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
					0	197,447	197,447	48	197,399	20,823,832	197,399	20,823,832	0	197,399	20,823,832	0	0
精液	液	/	24,500	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
					267,880	19,459	287,339	275	4,350	3,965,850	517	3,965,850	53,484	58,351	3,965,850	228,713	本
和牛受精卵	牛	/	個	50	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個
					812	242	1054	141	17	178,500	0	178,500	0	170	178,500	896	個
小計																	
粗飼料	ロール牧草	ha	400	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
					58	444	502	158	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼料	サイロ	ha	180,000	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
					108,497	205,739	314,236	157,757	0	0	0	0	6,480	0	0	149,999	0
小計																	
家畜	和牛	/	25	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
					21	31	52	0	2	918,750	0	918,750	1	3	918,750	26	頭
乳牛	乳牛	/	20	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
					6	25	31	0	9	175,000	0	175,000	0	9	175,000	10	頭
小計																	
合計																	

3 1 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成26年5月31日現在)

事業名	鳥取和牛オレイン55の増産に向けた飼料給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成25年度 ～28年度		(予算額) 支出済額	(4, 400, 000円) 4, 395, 061円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料給与技術の開発により「鳥取和牛オレイン55」の生産頭数増加を図る。 (単・受)	畜産試験場 農家	肥育牛50頭	給与試験実施のための牛肉のオレイン酸向上に有効な資材を絞り込む。また、オレイン酸含有率生前診断法を確立するため、出荷前の血液等の脂肪酸組成との関連性を調査する。	(成果) 場内及び農家での給与試験の結果、油粕類は嗜好性に問題があり、飼料米、ビオチンがオレイン酸を向上させる傾向が認められた。 (課題) オレイン酸生前診断については今後更に例数を増やした上で関連性を検討する必要がある。本試験を実施するためのビオチンを実施

事業名	牛胚移植の受胎率向上技術の開発		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成23年度 ～25年度		(予算額) 支出済額	(4, 313, 000円) 4, 300, 400円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
受卵牛の多様な要因を加味し、有効な受胎促進処置を明らかにする。(単)	畜産試験場 鳥取放牧場 農家	雌牛100頭	hCGの投与効果を確認するため、鳥取放牧場の預託牛である未経産ホルスタイン種を用い、移植時にhCGを投与する群、無処置群に区分して受精卵移植を実施し、受胎促進効果を検証する。	(成果) 基礎試験におけるホルモン剤接種後の卵巣動態の経時的変化及び血中プロゲステロン測定値から、黄体機能はプロゲステロンよりhCGの方が強化される傾向にあった。また、移植試験によりhCG投与効果が認められた。 (課題) hCG投与の実施は獣医師に限られており、今後農家段階で実施できる手法による受胎率向上の検討が必要と考えられる。

事業名	和子牛の育成に関する試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成23年度 ～25年度		(予算額) 支出済額	(3, 743, 000円) 3, 743, 000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
骨格の大きな筋肉質タイプの和子牛を育成し、せり価格の向上を図る。	畜産試験場	子牛30頭	強化哺育により育成した子牛の8.5ヵ月齢までの発育データを集積し、その有効性を検討する。	(成果) 高蛋白、低脂肪の代用乳を用いて黒毛和種子牛を哺育する「強化哺育」を実施することにより、離乳時の体重・体高は標準値と比較して概ね平均発育以上を示した。 (課題) 離乳後の下痢によって発育が停滞する子牛がみられたことから、離乳以降せり上場までの飼養管理方法を検討する必要がある。

事業名	黒毛和種肥育牛の飼料米給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成23年度 ～25年度		(予算額) 支出済額	(1,811,000円) 1,811,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。				

事業名	経膈採卵による一卵性多子生産技術の開発		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成22年度 ～25年度		(予算額) 支出済額	(5,669,000円) 5,645,500円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
先進繁殖技術の応用により種雄牛造成を迅速化・効率化する。	畜産試験場農家	雌牛20頭	一卵性多子生産に必要な技術を統合し、実際に牛に受精卵を移植し、受胎確認までを行う。	(成果) 一卵性多子生産のための一連の技術(経膈採卵、体外受精、割球分離、核移植)を用いて取り組んだが、受精卵の発生率が低く種雄牛造成への実用性は低いことが分かった。
				(課題) 割球分離によるペア胚生産までは一定の成果が得られたため、今後は今回の技術を活用して体外受精卵を利用した双子生産を検討する。

事業名	優良遺伝子を活用した新鳥取和牛の創造	担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年度～	(予算額)	(2,934,000円)
		支出済額	2,934,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標
試験研究調査の成果・課題			
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。			

事業名	鳥取和牛肉うまみ開発試験	担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成17年度～	(予算額)	(3,019,000円)
		支出済額	3,019,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標
試験研究調査の成果・課題			
鳥取和牛肉のブランド力アップのため、消費者や生産者が求める「うまみ」のある鳥取和牛肉生産に向けた研究を行う。 (単)	農林総合研究所畜産試験場	鳥取県に出荷される黒毛和種肥育産子の牛肉サンプル	・和牛の赤身肉に的を絞った味覚センサーの旨味値とアミノ酸組成との関係を調査 (成果) ・味覚センサーでのうま味値とアミノ酸組成のデータを122検体分分析した結果、うま味に関係するアミノ酸(グルタミン酸など)を数種類特定した。成果は日本畜産学会及び肉用牛研究会で発表した。 (課題) ・特定したアミノ酸割合の違いによる食味試験を行い、人が食べた時の「うまみ」の違いを確認する必要がある。 ・アミノ酸組成以上に香りが「うまみ」に影響を与えることが分かってきており、今後は香りに関する研究を行う必要がある。

事業名	和牛産肉能力直接検定試験	担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和54年度～	(予算額)	(2,605,000円)
		支出済額	2,476,550円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標
試験研究調査の成果・課題			
和牛産肉能力直接検定 (単)	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種種雄候補牛12頭	発育や体型、飼料利用効率などの項目で種雄候補牛の能力調査を実施し、種雄候補牛の一次選抜を行う。 (成果) 検定実施頭数 : 5頭 検定終了頭数 : 2頭 選抜頭数 : 2頭 (課題) 優秀な種雄候補牛を確実に選抜するため、より適切な候補牛の導入時選抜や検定実施の体制を構築する。

事業名	現場後代検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年～		(予算額)	(30,666,000円)
			支出済額	29,114,800円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
優秀な種雄牛造成のための肥育試験実施(単)	農林総合研究所畜産試験場	1種雄牛当たり、畜産試験場10頭・肥育農家8頭を肥育試験に供する	直接検定試験で選抜された待機種雄牛の産子を肥育し、遺伝的産肉能力を判定して、優秀な種雄牛を選抜・造成する。	<p>(成果)</p> 検定実施種雄牛：8頭 産子肥育頭数：129頭 検定終了種雄牛：3頭(うち1頭合格) <p>(課題)</p> 遺伝的産肉能力を最大限発揮させるための、飼養管理技術のさらなる向上。 オレイン酸含有率を高めるための飼養管理技術の習得

事業名	牛の精液供給事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和53年度～		(予算額)	(9,512,000円)
			支出済額	9,484,347円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
凍結精液の作成及び配布(単)	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種種雄牛及び候補牛18頭	優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛精液を安定供給する。	<p>(成果)</p> 精液生産本数：19,459本 精液配布本数：4,871本 (うち販売4,350本) <p>(課題)</p> 優秀な種雄牛を造成し、凍結精液販売本数の増加を図る。

事業名	砂丘地飼料作物栽培及び牛への給与に関する試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成25年度 ～ 27年度		(予算額) 支出済額	(150,000円) 150,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
砂丘農地での飼料作物栽培を検証し、自給率向上と荒廃農地解消を目指す。	農林総合研究所畜産試験場 県内砂丘農地	トウモロコシ スーダン ソルゴー イタリアンライグラス ライムギ	砂丘地栽培に適した飼料作物の草種を調査し、施肥体系や灌水の有無が収量に及ぼす影響を調査する。	(成果) 砂丘地栽培にはトウモロコシが適していた。灌水の有無と施肥体系の組合せ方で収量に違いが出た。通常の施肥体系である化成肥料の元肥のみでも、灌水の適時利用で収量の確保は可能と考えられた。 (課題) トウモロコシの砂丘地栽培における機械作業体系を検証し、栄養特性、嗜好性を調査する。

事業名	乳牛の繁殖性向上試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成23年度 ～ 25年度		(予算額) 支出済額	(9,927,000円) 9,927,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。				

事業名	粗飼料増産のための優良品種選定試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成23年度 ～ 25年度		(予算額) 支出済額	(73,000円) 73,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料作物を試験栽培し、県内の気候に適した優良品種を選定する。 (単)	農林総合研究所畜産試験場	イタリアンライグラス トウモロコシ	自給粗飼料の生産基盤強化と増産を目的に、牧草の優良品種を選定するための試験栽培を行う。	(成果) イタリアンライグラスでは、「タチワセ」の3ヵ年平均収量が標準品種と同等となり良好な成績となった。トウモロコシでは、「KD777new」の3ヵ年平均収量が標準品種を上回り良好な成績となった。 (課題) 引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。

事業名	飼料分析を活用した給与技術向上支援事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成25年度		(予算額)	(737,000円)
			支出済額	737,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料を分析し、自給飼料生産技術・飼料給与技術の改善を支援する。 (単)	農林総合研究所畜産試験場	飼料分析依頼件数：715件	<ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の栄養成分分析を行い、飼料給与設計の基礎データとして活用。 ・家畜の生産性（牛乳・牛肉）や繁殖性に最も影響が強い「飼料給与技術」の向上。 	<p>(成果)</p> <p>飼料分析件数は年間700~800検体で推移しており、綿密な飼料設計の基礎データとして活用されている。また、サイレージ共励会において高品質な自給粗飼料生産に対して積極的に指導・提言し、品質向上に向けた啓発活動を展開している。</p> <p>(課題)</p> <p>引き続き、自給粗飼料の収量及び品質の向上に向けた研究・啓発活動を実施する。</p>

事業名	粗飼料生産事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	昭和41年度 ～ 継続実施		(予算額)	(5,621,000円)
			支出済額	5,621,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験供試牛へ給与する自給粗飼料を生産する (単)	畜産試験場飼料畑	圃場面積 11.5ha	<p>作付け品種</p> <p>春作：トウモロコシヒエ</p> <p>秋作：イタライグラス</p>	<p>(成果)</p> <p>秋作イタラインは対前年比114%、春作トウモロコシは116%と収穫量を増加できた。</p> <p>(課題)</p> <p>春作ヒエは収穫量は確保できたが、硝酸態窒素濃度が高く品質に問題があるため、施肥体系について検討する必要がある。</p>

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等
特になし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等
特になし